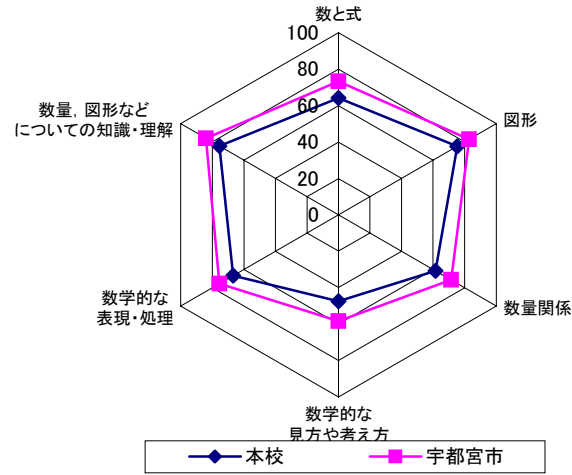


宇都宮市立国本中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	64.2	73.3
	図形	75.3	82.8
	数量関係	61.4	71.3
観点別	数学的な見方や考え方	47.5	58.4
	数学的な表現・処理	66.8	75.3
	数量、図形などについての知識・理解	75.3	83.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (64.2%)	・全問で宇都宮市の平均を下回り、全体の平均正答率でも9.1%低い。特に式の値・等式の変形・連立方程式の利用では極端に低い傾向がみられた。ただ、比の性質ではほぼ市の平均と変わらない状態だった。	・「比の性質」の問題は、積み重ねた知識・技能をさほど必要としないという点で取り組みやすかったものと考えられる。小学校からの積み重ねが甘い生徒が多く、徹底した反復練習を重ねて少しでも身につけさせていきたい。
図形 (75.3%)	・全問で宇都宮市の平均を下回り、全体の平均正答率でも7.5%低い。全体が低い中で三角形の合同については他の設問に比べてやや高い傾向も見られる。	・この領域でも比較的今までの積み重ねに左右されにくい「合同」の内容がやや良い傾向があった。授業でも基礎的な証明に入ってから興味を持つものが表れ、このあたりを丁寧に指導することを通して今後につないでいきたい。
数量関係 (61.4%)	・全問で宇都宮市の平均を下回り、全体の平均正答率でも9.9%低い。特に1次関数の利用では大きく市の平均を下回り、設問によっては正解者が3分の1程度しかいなかった。	・1年生の段階から最も苦手とした領域であり、根本的に手を加える必要がある。この領域の反復練習も必要だが、まず数量領域のレベルアップから取り組みたい。